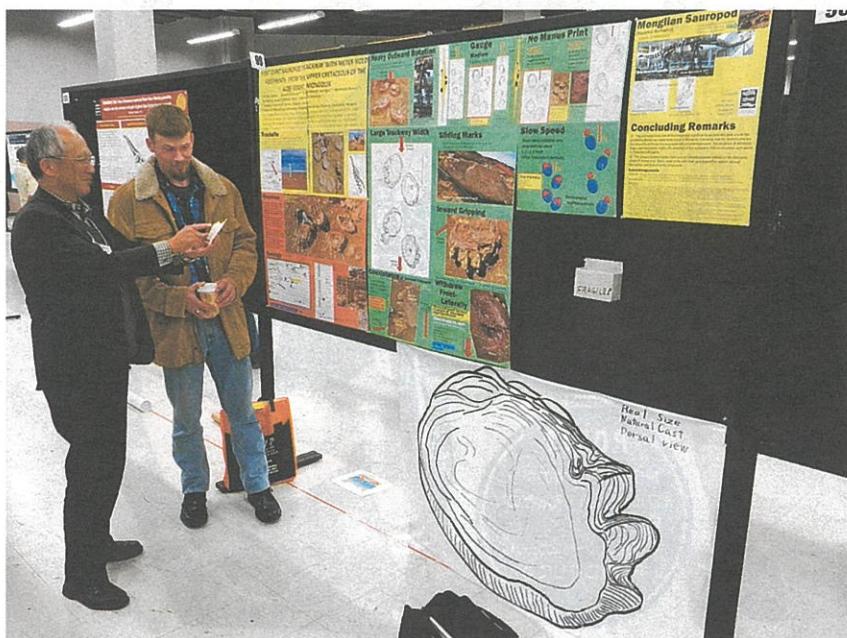




夜の博物館を借り切って研究者の交流パーティーが開かれます。
恐竜の前でビールを飲みながら話がはずみます。

最新の研究成果に興奮



ポスター発表会場。ポスターは日本の学会の2倍ぐらいの大きさで1枚より広いです。私は巨大足跡を実物大の図で発表しました。

モンゴルでの研究成果を発表するために、アメリカのニューメキシコ州で開かれた「古脊椎動物学会」に行つてきました。恐竜や鳥や哺乳類の化石の研究者が世界から集合。さて、何人でしよう。なんと1400人。すごい熱気でした。

参加者がそれぞれの研究を英語で発表します。その数約800本。最新の成果なので、わくわくします。

岡山理科大学からは私と千葉謙太郎先生の2人が発表しました。千葉先生の発表は体育馆のような大きな会場に700席ぐ

らいの椅子を並べたところでスライドを使いながらの発表です。時間は15分間。「ちょっとと早くでしゃべりすぎたかなあ…」

私の方は、研究成果を畳1枚ぐらいのポスターにして発表しました。会場には巨大なついたてが立ち並び、160枚ぐらいのポスターが貼りつけられ、好きな時に見て回れます。自分のポスターの前で説明する時間帯があるのですが、み

んなビールを飲みながら議論するんですよ。さて、この学会、来年はオーストラリアで行われます。実はとても有名な恐竜化石の产地の近くで、そこへのツアーもきました。会場には巨大なついたてが立ち並び、160枚ぐらいのポスターが貼りつけられ、好きな時に見て回れます。自分のポスターの前で説明する時間帯があるので、み

きょうりゅうがくしゃ
恐竜学者が集まる「古脊椎動物学会」

岡山理科大教授・石垣忍

恐竜調査隊が行く



まめ豆
ち知しき識

「古脊椎動物学会」は背骨のある動物（魚類・両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類）の化石の研究者が参加しています。今年日本人も20人以上参加しました。若手の研究者に与えられるローマ賞は今年は日本人が受賞しましたよ。日本では「日本古生物学会」が化石研究者の集まりです。